

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年3月21日 (2008.3.21)

【公表番号】特表2007-520521(P2007-520521A)

【公表日】平成19年7月26日 (2007.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2007-028

【出願番号】特願2006-551813(P2006-551813)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/55 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 11/14 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 13/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/55

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 9/107

A 6 1 K 9/48

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 11/14

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 13/02

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月29日 (2008.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本明細書で用いる「自発的に分散可能な医薬組成物」とは本明細書で定義する活性薬剤を含有し、そして水性溶媒、例えば水で希釈するか、または胃液中にある場合、コロイド構造を生成することができる組成物を意味する。コロイド構造は液滴およびナノ粒子を含む固体または好ましくは液体粒子でよい。自発的に分散可能な医薬組成物は好ましくはマイクロエマルジョン前濃縮物である。